



う て な

A i o i

■ あいさつ

■ 活躍する同窓生

■ 相門会活動報告

■ 母校だより

■ 事務局より



同窓会総会 2020年 8月22日(土)16:00~ 場所:相生高校会議室

2020年8月22日に同窓会総会を開催いたします。どなたでも参加できますので、卒業以来、相生高校へ来られたことのない方も、この機会に懐かしい母校にお立ち寄りください。そして同窓会活動へのご意見をお聞かせください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



相門会のみなさまへ

相門会会長 芦谷 得夫（1回生）

あおり運転・暴言・職場内いじめ・虐待等々、今年も毎日のように悲しい事件・事故が報道されています。おもてなしの心や他者の気持ちを慮るという日本の良き文化はどこへ行ってしまったのだろうと思います。一人一人に余裕がなく、常に怒っているように思えます。また、SNS上の人権侵害も大きな社会問題です。発言すると叩かれる、ものを言えぬ社会となっていくそうで心配です。先日、「PISA2019」の結果が公表されていました。その結果は、読解力が大きく低下していました。ICTの大きな進歩により、日常のコミュニケーション手段が変化したことによる人間関係力の低下を一因とする識者もいます。言葉は太陽にもなるし、刃にもなります。相手を大切に思う気持ちは、相手の顔が見えるコミュニケーションからだと思います。今年の流行語大賞は、「ワンチーム」に決まったそうです。ラグビー日本代表が大切にしてきた考え方です。ワンチームとは、文化も考え方も違うメンバーが、一つの本当の家族のようになり、自分が家族（チーム）のために何かをしてあげたいと思える固い絆に結ばれたチームをつくりあげることです。そのた

めに大切にしてきたことは、お互いを尊重することと思いやることだったということです。私たちは、今まさに人と人とのつながり方を真剣に考える時ではないでしょうか。

さて、今年も8月17日に相生高校にて令和初の相門会総会を実施いたしました。総会議事では、第1号議案平成30年度の決算・事業報告、第2号議案役員の異動、第3号議案令和元年度の予算・事業案、第4号議案短期語学研修への助成について協議し、ご承認をいただきました。その中の、短期語学研修への助成についてですが、これまで国際交流事業としてオーストラリア訪問と国際理解講演会の助成を行ってきました。オーストラリア訪問の方は昨年度をもって終了することを皆様にお伝えしたところですが、母校の新事業として短期語学研修を新たに実施したいという相談がありました。これからの日本を考えるとグローバル化への対応は避けて通れないことであります。世界に通用する若者を育てるためにも世界を知るということは大切です。そういった意味から同窓会としましては短期語学研修を支援していくことといたしました。

また、今回新たな役員として10回生の佐伯敦氏、11回生の大石雅嗣氏をお迎えすることができました。同窓会活動に新たな風を吹かせていただけることを期待しています。

私たち役員一同、会員相互のコミュニケーションの活性化を大きな狙いの一つとして活動していきたいと考えています。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

あ

い

さ

つ

2019 DEC. [utena] vol.23



新たな時代を切り拓く力

校長 小西 信吾

相門会会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より母校に対しまして、変わらぬ多大な協力と温かいご支援を賜り心より深く感謝申し上げます。

西前校長の後任として、4月1日付で県立伊和高等学校より着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

本校の生徒は明るく、元気にハツラツと挨拶する姿に喜びを感じました。本年度も高校特色づくり推進事業～インスパイア・ハイスクール、ひょうご学力向上推進プロジェクト、高大接続推進事業指定校に採択され、確かな学力の育成を推進しています。

相高祭や体育大会においても、クラス縦割りのカラーTシャツが躍動し、大いに盛り上がりました。部活動においては、80%以上の生徒が入部し、文武両道を実践しています。今年度は、女子ソフトテニス部が県総体で5位入賞を果たし、近畿大会に出場しました。

また、生徒会が中心となり地域貢献活動に積極的に参加し、昨年度の活動は67回に及び、相生市との結びつきはより強固なものとなっています。こうした学校や生徒たちの様子は、その最新情報を随時本校HP（ブログ）を通して情報発信しています。相門会会員の

皆様にはご覧いただければ幸いです。

さて、本県は今年度より第3期「ひょうご教育創造プラン」を策定し、その重点テーマを「『未来への道を切り拓く力』の育成」とし、新たにこの5年間に重点的に取り組むこととしています。少子高齢化が進展する中で、経済のグローバル化や人工知能等の情報通信技術の発達、人・物・情報の交流を飛躍的に広げています。このような状況の中にあっても、持続可能な社会の実現をめざし地域の活力を維持・向上させるには、一人一人が社会の担い手として活躍することが求められており、社会的自立に必要な能力や態度の育成が必要であります。このようなプランを受けて、異文化に触れる機会として、2年間休校しておりました海外留学について、保護者や生徒の要望もあり、西オーストラリア大学語学研修という形で来年度から再開する運びとなりましたこと、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

先輩方が築き上げられてこられた相生高校の伝統を受け継ぎ、教職員が労を惜しまず、生徒一人一人と真剣に向き合い、進路実現に向けて、日々努力を重ねてまいります。教職員がここで働きたい学校、中学生がここで学びたい学校とするようさらに発展、進化を続けてまいります。

最後になりましたが、相門会の会員の皆様の今後益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。あいさついたします。

職員異動

転出者

職 名	氏 名	異動先
校 長	西 茂樹	明石高等学校
教 頭	陶山 浩	神戸特別支援学校校長
教 諭	定本 博江	姫路商業高等学校
教 諭	是川 和範	兵庫県立大学附属高等学校
教 諭	吉田 博士	伊和高等学校
教 諭	濱田英美子	兵庫県教育委員会事務局社会教育課
教 諭	藤原 知哉	武庫荘総合高等学校
臨時校務員	英 達也	高砂高等学校
任期付講師	北垣 翔太	姫路別所高等学校

転入者

職 名	氏 名	前任校
校 長	小西 信吾	伊和高等学校
教 頭	八十川洋一	赤穂高等学校
教 諭	山本 真輔	神崎高等学校
教 諭	山村 亨	兵庫県立大学附属高等学校
教 諭	青木 佑樹	佐用高等学校
教 諭	村上 理香	新規採用
校 務 員	川田 将二	姫路聴覚特別支援学校
任期付講師	兼田 淳平	新任



約 40 年を振り返って

高原 敏訓 (6回生)

現在、私は南国高知県の中央部の香南市に所在する陸上自衛隊高知駐屯地で第 50 普通科連隊長（歩兵の実動部隊）兼ねて高知駐屯地司令として勤務しています。特に、駐屯地司令には高知県民と自衛隊を結びつける役割がありますが、高知県民の皆様とは来る南海トラフ地震のこともあり良好な関係を維持しています。

令和元年 8 月に高知県須崎市で越智相生市副市長・松本地域振興課長に偶然お会いして、今回のご縁を頂きました。

思い起こせば、昭和 57 年に 6 回生として貴校にお世話になって以来約 40 年が経過しました。当時は、赤穂市から電車で通学し、課業後はコーラス部でお世話になっていました。

昭和 60 年に貴校を卒業させて頂いた後、国防の任に燃え横須賀市の防衛大学校に入校し、北海道旭川市の陸自部隊配置から全国 16 回の転勤を経て平成 30 年 3 月から現職です。ちなみに、私の階級の 1 等陸佐とは、外国の大佐と同位です。

自衛隊は、国の独立と平和を守ることが任務のため、完遂できるよう演習場等で訓練することが仕事となります。

また、災害派遣も重要な任務であり、私は、平成 30 年の 7 月豪雨においては、高知県知事の要請を受けて派遣部隊を指揮しました。さらに、東日本大震災においては、原子力災害に対処した第 12 旅団司令部（群馬所在）の情報担当部長として、放射能に関する情報を入手し、活動部隊及び地域の安全に寄与しました。

私は、幹部として入隊しましたので約 35 年にわたり常に



リーダーとは何かを考えながら、隊員を牽引してきました。特に、訓練においては、野山を駆け回ることもありましたが、多くは訓練の企画・評価や、防衛省本省等で行政的な業務でした。

自衛隊は、体力だけで十分のように思われがちですが、多様な能力が必要となります。特に英語は重要です。私は、不得意でしたが業務上勉強を続けアフリカ・モザンビーク PKO、10 回以上（2 回はハワイ）の日米共同演習に参加しました。また、フランスへの短期留学もさせて頂きました。自衛隊には語学を教育する機関があり、同時通訳レベルの課程も存在しています。他にも工学・理学博士や医師・看護師もおり人材は多種多様です。

自衛隊は大きな組織ですので、チームワークが必要不可欠であり、各人が各々の役割を遂行することが必須となります。そのため隊員個人を大切にしています。

生徒の皆さんは、各人夢を持っていると思いますが、夢に向かい段階的に達成可能な目標を定めて、確実に達成することが夢を叶える近道だと経験上思います。

最後に、益々相生高等学校が発展しますとともに、同窓生の方々が活躍されることをご祈念します。



「人生は一度きり」

杉山麻美子 (20回生)

You only live once.

相高を卒業して、自分でも驚く程の年月が経過しますが、当時と変わらない私自身の合言葉がこれです。

振り返れば高校時代は、華やかさとは全く無縁の、毎日の小テストや部活動に明け暮れた毎日でした。しかし不思議なもので、過ぎ去った後に思い出すのは、クラスメイトと一生懸命取り組んだ体育大会や文化部発表会。また、先輩や後輩と励まし合いながら、暑い日も寒い日も、休む事なく頑張った陸上部の練習風景だったりします。

そんな健全な高校生活が無事卒業し、その後進学した短大も卒業した後は、色んな所に旅行に行けて楽しそう！という前向き過ぎる理由でバスガイドになりました。およそ 3 年間、様々な場所に赴き、沢山の人の出会い、一つ一つの仕事に責任を持って取り組む大切さを学ぶ事が出来ました。

この時に経験した、働く事の厳しさと楽しさ、そして感謝の気持ちを持って仕事に臨む姿勢は、今も自身の大きなベースとなっています。

その後はまだ 20 代前半と若かった事もあり、好奇心の赴くまま、「やってみたい！」と感じた仕事を幾つか経験させて頂きました。

現在は、地元選出の衆議院議員事務所でお世話になる

傍ら、司会業の仕事も頑張っています。

3 年前に姫路のローカルラジオの講座を受講し、1 年間座学を学び、更にその後 1 年間、受講生の為に用意された毎週 1 時間枠のラジオ番組で実践を経験させて頂きました。

30 代後半になると、なかなか注意を受ける機会も無くなるものですが、そこはプロの世界。出来ていない所や、下調べが不十分な箇所は、講師の先生から厳しく指導が入りました。それでも何とか 2 年間のカリキュラムを修了する事が出来ました。

挑戦している最中は、しんどい事や出来ない悔しさが大きいかもしれませんが、でもそれを受け入れ、今ある目の前の事に一生懸命取り組み、やり続ける事こそが、自分自身のかけがえのない財産となり、その後の道を開いていくと実感する今日この頃です。

人生は一度きり。良い事も悪い事も全て自分次第です。相生高校に縁のある皆様の幸多き未来を心よりお祈りしております。





「グローバルな環境に身を置いて」

大塚 高博 (40回生)

兵庫県立大学 国際商経学部 グローバルビジネス学科

全員がユニークで個性豊か、そしていろいろな形で自分を成長させてくれたグローバルビジネスコースで毎日勉学に励みながら、僕はこの大学に入学して本当に良かったと感じています。前期の間は TOEFL 対策を含め英語を集中的に勉強し、実際にフィリピンでは5週間滞在し英語を自分のものにしてきました。この学科は日本にいても授業は必ず英語で行われるため留学先の授業と全く同じような環境です。ただ留学してこそ学べたことは、乗り合いバスの乗り方や値段交渉など、「分からないことは何でもすぐに尋ねて調べて解決する」ということです。日常の中ではいちいち和訳している暇もなく全て英語で考えてしまうようになりました。それだけでなく、もしも友達とはぐれた際にはどうするのかなど日本では考える必要もないことも、問題が起きる前に想定してどの方法が最適なのかを常に考える癖が付ききました。

新しい学科ということもあり、まだまだ未知な部分が沢山あります。だからこそ自分たちで議論を重ね、先生に提案するといったことも多くあり、それもまた自分たちの解決力や団結力につながったと思います。

秋学期開始と同時に沢山の留学生が各国から入学して来ました。新たに完成した学生寮で、英語や様々な母国語、いつ

も笑い声の飛び交うという充実した環境の中で毎日、毎食を共にしながら生活しています。そして誰もネイティブではないけれど、全員が経済学を始めとする全ての授業を英語で学んでいます。時に大変だと感じる時もありますが、周りにいる同じ仲間とお互いに助け合いながらどんな困難も克服していきます。これからいろいろなことを経験し、更に自分に自信をつけながら将来の夢に向かって前進していきたいです。

高校では大学受験のための英語を中心に勉強するので少し大変かもしれませんが、英語はコミュニケーションのための道具です。使ってこそ、話してこそそのものです。今は自由な大学生活に向けて辛抱の時期でもあるかも知れませんが、高校生活でせっかく身につける道具を是非色んな形で使ってみてくださいね。



相 門 会 活 動 報 告

2019 DEC. [utena]vol.23

5 回生 卒業35周年同窓会

私たち5回生は1月5日(土)相生のラヴィーナで卒業35周年、2回目の同窓会を開催しました。

♪信じられない速さで時が過ぎ去ると知ってしまったらどんな小さなことも覚えていたいと心が言ったよ♪とは今回のテーマソングにした竹内まりやさんの「人生の扉」の一節ですが、初めて同窓会を開催して5年が経過し、まさにこんな心境で集まった恩師3名を含む45名でした。

当日は恩師からのお話、在学当時の写真のスライドショー等で盛り上がった他、全員が近況報告のスピーチをしました。在学当時大人しかった人が語る語る!その活躍振りに皆驚きの連続でした。

駅前の江戸屋で開催した2次会にも33名が出席。実に4時間、席替えをしながら在学当時もあり話したことのな



かった人達とも語りつくしました。

思えば、人生の中のたった3年間、同じように相高への坂を登って高校生活を送ったという経験を共有しただけの私たちですが、それがどれほど貴重な財産かを噛みしめた一日でした。次回の幹事を決め、再会を誓いあって解散しました。よろしくお願いします。

松田 善和

職業ガイダンス

本年度1年生対象第8回職業ガイダンスに来ていただいた講師の方を紹介します。

相生市立若狭野小学校	西脇 珠美	6回生
相生市立中央幼稚園	杉山 悦子	18回生
社会福祉法人愛心園	村瀬 亮	26回生
相生市役所	有末 周平	35回生

J Aバンク	水野 一郎	2回生
医療法人 白鳳会 赤穂中央病院	桶口三香子	11回生
積水ハウス(株)	小松 洋一	2回生
グローリー(株)	起塚 宏道	13回生

初めての方も毎回の方も本当にお忙しい中お世話になりました。

敬称、役職名は省略

教育実習

6月3日（月）から21日（金）までの3週間、本校の卒業生4名が教育実習のために母校に帰ってきました。本校の卒業生らしく、担当教諭の指導助言を受けて、授業観察をしたり、教材研究を深めるなど、熱心に教科指導に取り組みました。また、部活動指導や相高祭の準備などにも積極的にに関わり、生徒とも意欲的に交流しました。実習生にとっても、生徒たちにとっても、思い出に残る3週間だったと思います。

【実習生の感想】

37回生（保健体育）

実習が始まった頃は授業の組み立て方や生徒との関わり方に悩み、本当に3週間、先生という立場で生徒に何か教えることができるのかと、とても不安になりました。しかし、つまづいた時は先生方にご指導いただいたお陰で少しずつ楽しむことができるようになりました。生徒とも日を重ねるごとにコミュニケーションが取れるようになり、生徒と関わる時間がとても充実したものになっていったと思っています。学生の頃は知らなかった授業の準備や工夫の仕方、授業以外の仕事を経験して、大変さを知ると同時に一人ひとり違った生徒と関わる楽しさや生徒の成長を実感できることへのやりがいを感じました。教育実習というとても貴重な経験から得たこと、学んだ沢山のことを忘れずにこれからに活かして努力していきます。

37回生（保健体育）

私にとってこの3週間は本当に濃く、充実したものとなりました。最初は不安と緊張で最後までやっていけるのかなという気持ちでいっぱいでしたが、生徒のみなさんの笑顔や支えて下さる先生方のおかげで少しずつ楽しい日々へと変わっていきました。この実習を通して、改めて教員という職業の厳しさや難しさを感じました。それと同時に「やりがい」というものとても感じることができました。私は保健体育の授業をさせて頂いたのですが、体育のハードル走の授業で生徒から「先生のおかげで速くなった、上手くなった」と言われた時は本当に嬉しかったし、頑張って良かったと思うことができました。このような経験をさせて頂けたのは、先生方が私にチャレンジする場を与えて下さり、生徒のみなさんが未熟な私を受け入れてくれたからこそだと思います。本当に3週間ありがとうございました。

37回生（数学）

私はこの3週間で、授業をすることの難しさや大変さ、生徒と関わる楽しさを感じ、多くのことを学ぶことができました。

授業に関しては教材研究の大切さと大変さを実感することができました。その際、まだまだ力や知識が不十分であると痛感しました。

生徒とは、始めは少し遠慮してしまい距離がありましたが、徐々に生徒と関わることができ、また、私自身が生徒と関わることに對して楽しんでいることに気付くことができました。

最後に、先生方からの温かいご支援・ご指導、笑顔で接してくれた生徒達がいたからこそ、無事に教育実習を終えることができたのだと思います。3週間で学んだことを整理し、今後活かせるよう努めていこうと思います。

37回生（国語）

私にとってこの3週間の教育実習は、毎日が発見の連続で濃く充実した時間になりました。中でも先生方の生徒に向き合う姿勢からは学ばせていただく点が多く、入念な授業準備や質問への対応、問いかけなど生徒一人一人への向き合い方には考えさせられることが沢山あり、実際に授業をして初めて気づくこともありました。また、実習中多くの先生方に気遣っていただき、助言やご指導をしていただきました。私自身にも向き合って下さった先生方の存在があったからこそ3週間精一杯取り組むことができたのだと思います。

不安と心配で押しつぶされそうな時もありましたが、それらを乗り越えることができ、先生方、生徒、3週間一緒に過ごしてきた実習生の支えがあったからこそ、この教育実習で人として大きく成長できたように思います。これからも、教育実習で得たことを活かしながら、日々努力していきたいです。



相生高校の今

第1回 English Day 3月4日(月)

English Dayは新たに英語4技能評価が導入される大学入学共通テストに向けて、実施することになったプログラムです。協力して下さったのは近隣の学校に勤務している10名のALTの先生方で、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、トリニダード・トバゴ出身の方々です。

ESS部の生徒が司会を務めた開会式の後で、社会科教室に場所を移し、English Dayの本番が始まりました。まずはALTの先生方の出身国について話をしていただき、生徒たちはそれについて英語で質問をしました。その後、生徒は準備していた日本のアニメや祭りといった日本についてのプレゼンテーションを英語で行いました。生徒たちは終始笑顔でALTの先生方とのコミュニケーションを楽しんでおり、充実した時間を過ごしました。

閉会式では優秀賞やベストクラス賞が授与されました。新たな相生高校の歴史の一ページが始まった一日となりました。



相高賞 創設

平成31年2月27日(水)、第40回卒業証書授与式の前日に、相生高校で初めての相高賞授与式を挙行了しました。相高賞は勉学や部活動といったさまざまな分野において、本校生の模範となる行為をした生徒を学校長が表彰し、その功績を讃える目的で創設された賞です。

栄えある第1回受賞者には志水優斗くん(40回生)が選ばれ、校長から表彰状と盾が贈られました。



第1回相高賞受賞者 志水優斗(40回生)

英語スピーチコンテスト 県大会へ

平成30年11月4日(日)に明石市民会館にて、第33回兵庫県高校生英語スピーチコンテストが開かれました。本校からは西播大会で2位となった井上泰壱くん(41回生)が出場を果たしました。

ALTのビリン先生などの指導を受けながら、発音、デリバリーなどの練習を重ねました。本番ではその成果もあり、思いが聴衆に伝わる素晴らしいスピーチを披露することができました。



～県立学校環境充実応援プロジェクト～

母校の後輩たちの教育環境整備のため寄付金を募集しています!

兵庫県は「ふるさと納税」の制度を活用して、教育の一層の活性化を図るため平成28年度から「県立学校環境充実応援プロジェクト」を実施しております。相生高校では、本年度「快適な教育環境をサポート」を事業テーマとして「洋式トイレの暖房便座化」「かんばん廊下、教室の整備」のための寄付金を募集します。

平成30年度から31年度にかけて普通教室棟のトイレ改修工事(洋式化)が実施されました。素晴らしい環境になりましたが、生徒用トイレは暖房便座になっていません。より快適な学校生活が送れるよう暖房便座を設置します。

職員室前の「かんばん廊下」には長机が置いてあり、試験前ともなると先生に熱心に質問している生徒や一人黙々と勉強している生徒が多く見られます。そのような生徒のために照明をより明るく消費電力の少ないLED照明に改修します。

ふるさと納税による寄付金をすると、寄付額のうち2,000円を超える部分について、確定申告することにより、一定の上限まで、所得税、住民税から原則として全額が控除されます。詳しくは兵庫県ホームページの「ふるさと納税」を参考にしてください。

なお、昨年度いただきました寄付金でスポーツプリンター、防球ネットフェンス、デジタル一眼レフカメラ、十七絃琴を購入させていただきました。温かい応援をありがとうございました。



平成30年度 部活動活動報告

部活動名	大会名	種目	順位・戦績・賞名等	記録等
卓球部	兵庫県卓球選手権ジュニアの部	女子シングルス	第15位	
	兵庫県高校総体 卓球競技西播予選	女子シングルス	優勝	県大会へ
女子ソフトテニス部	平成30年度前期西播高校ソフトテニス大会	女子個人戦	ベスト16	県大会出場
	平成30年度前期西播高校ソフトテニス大会	女子団体戦	ベスト8	県大会出場
	第112回北播磨地区オープンソフトテニス大会	女子団体戦	第3位	
	第112回北播磨地区オープンソフトテニス大会	女子個人戦	準優勝	
	平成30年度後期西播高校ソフトテニス大会	女子個人戦	ベスト16	県大会出場
	平成30年度後期西播高校ソフトテニス大会	女子団体戦	ベスト8	県大会出場
男子ソフトテニス部	平成30年度後期西播高校ソフトテニス大会	男子団体戦	ベスト8	県大会へ
剣道部	第56回三楽錬成剣道大会	女子団体試合	優勝	
	第56回三楽錬成剣道大会	女子個人試合	2位	
	第56回三楽錬成剣道大会	女子個人試合	3位	
	第57回三楽錬成剣道大会	女子団体試合	優勝	
	第57回三楽錬成剣道大会	女子団体試合	2位	
	第57回三楽錬成剣道大会	女子個人試合	2位	
	第57回三楽錬成剣道大会	女子個人試合	3位	
	第57回三楽錬成剣道大会	優秀選手賞		
	第59回西播高等学校新人剣道大会	女子個人試合の部	優勝	
	第59回西播高等学校新人剣道大会	女子団体試合の部	第3位	
野球部	第100回高校野球西兵庫大会		4回戦ベスト16	
	秋季高校野球西播地区大会			県大会へ
陸上競技部	男子第73回兵庫県高等学校駅伝競走大会西播地区予選	男子の部	第6位	県大会へ
	男子第71回西播高等学校駅伝競走大会 女子第33回西播高等学校駅伝競走大会	駅伝	男子6位 女子7位 女子2区3位	
女子バスケットボール部	後期西播高校バスケットボール大会	バスケットボール	第5位	県大会出場
	冬季西々播大会	バスケットボール	優勝	
	ウインターカップ予選		ブロック優勝	県大会出場
	秋季西々播大会		優勝	
女子バレーボール部	後期西播高校バレーボール大会	バレーボール		県大会出場
男子バレーボール部	第9回ホープ杯近隣地区 高等学校バレーボール大会		第3位	
自然科学部	ライオンズクラブ千種川水生生物調査	団体	感謝状	
写真班	兵庫県高等学校写真連盟 西播支部春季写真コンテスト		佳作	
	第42回兵庫県高等学校 総合文化祭写真部門西播予選		佳作 3人	
	西播磨青少年部長賞			
	インターハイスクールカップ・ フォトコンテスト2019		入選	
放送部	第65回NHK杯全国高校放送コンテスト 兵庫県大会地区予選	ラジオドキュメント 部門	入選	県大会 決勝進出
	第65回NHK杯全国高校放送コンテスト 兵庫県大会地区予選	創作ラジオドラマ 部門	佳作	
	第65回NHK杯全国高校放送コンテスト 兵庫県大会決勝	ラジオドキュメント 部門	奨励賞	

平成30年度 表彰の記録

読書感想文	平成30年度播磨西高校 読書感想文コンクール	優秀賞	
	平成30年度播磨西高校 読書感想文コンクール	佳作	
英語スピーチ	第36回西播磨支部高校生 英語スピーチコンテスト	2位	県大会出場

平成30年度 進路状況

進路指導部長 潮海 邦彦

大学入試センター試験の志願者数と受験者数がともに前年より若干減少するなか、国公立大学志願者数は微増しました。センター試験の平均点アップと、「私大難化」への不安感が影響し、センター試験の得点を生かす堅実な出願が見られました。学部系統別（前期）では、文系では「文・人文」、「法・政治」、理系では「理」、「農」で前年より志願者を増やしています。一方、私大一般入試の志願者数は13年連続で増加しました。2016年からの入学定員管理の厳格化による合格者絞り込みの影響もあり、安全志向から、関関同立大で前年比96.1%と志願者が減少し、産近甲龍大で前年比103.5%（特に甲南大は115.7%）と増加しました。また、2020年（現高校2年生）からの入試改革を見据え、英語の外部検定（英検、GTEC、TEAP、TOEIC等）を利用した大学数が5年連続増加（前年比123%）しました。

本校では、今年は例年以上に国公立志向の強い生徒が多く、神戸大学や岡山大学をはじめ、国公立大学に74名（うち現役65名）が合格しました。前期入試だけでなく、中期、後期入試までしっかりと対策を立てて取り組んでいた成果だと言えます。一方、私立大学では関関同立大20名、産近甲龍大48名をはじめのべ379名が合格しました。看護系においても、地元の学校を中心に最後まで粘り強く健闘しました。

平成30年度 合格・進学結果一覧表

	合 計		
	現 役	浪 人	計
国 公 立 大 学	65 (54)	9 (7)	74 (61)
私 立 大 学	359 (94)	20 (4)	379 (98)
大学小計	424 (148)	29 (11)	453 (159)
準 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国 公 立 短 大	3 (1)	0 (0)	3 (1)
私 立 短 大	24 (8)	0 (0)	24 (8)
短大小計	27 (9)	0 (0)	27 (9)
専門・各種学校	31 (19)	1 (1)	32 (20)
就 職 ・ 公 務 員	1 (1)		1 (1)
留学・予備校など	13		13

※（ ）内は実進学・就職者数 数字は延べ数

平成30年度 主要合格先

《国公立大学》		
北見工大	3	
山梨大	2	(1)
神戸大	1	
兵庫教育大	3	
岡山大	8	(1)
鳥取大	8	(3)
島根大	1	
山口大	1	
香川大	1	
徳島大	3	
愛媛大	1	
高知大	2	(1)
京都府立大	1	
兵庫県立大	13	
鳥取環境大	3	(1)
新見公立大	1	
島根県立大	2	
尾道市立大	3	
県立広島大	3	
下関市立大	1	(1)
高知工科大	3	
長崎県立大	2	
《私立大学》		
京都産業大	8	
同志社大	1	
立命館大	3	
龍谷大	4	(2)
大阪工大	30	(1)
大阪経済大	5	
関西大	8	
摂南大	5	
関西外大	4	
近畿大	17	(2)
関西学院大	8	(1)
甲南大	19	
神戸学院大	67	(1)
神戸女子大	27	
神戸女学院大	2	
武庫川女子大	19	
姫路獨協大	8	
関西福祉大	15	
岡山理科大	13	
《専門学校》		
姫路市医師会看護	6	
姫路赤十字看護	5	
姫路医療附属看護	3	
相生市看護	4	
《専門学校》		
民間企業	1	

※数字は延べ数・（ ）内は浪人

平成30年度決算報告

〈一般会計〉 (単位:円)	
収 入	3,941,876
支 出	3,918,587
差 引 残 額	23,289

■収入の部

前年度繰越金	30,752
入 会 金	3,530,000
会 費	375,102
雑 収 入	6,022
合 計	3,941,876

■支出の部

生徒活動奨励金	250,000
会 報 発 行 費	1,443,648
事 務 費	69,778
貸 金 庫 手 数 料	19,440
会 議 費	9,468
幹事会案内状印刷・郵送費	51,145
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	200,000
同窓会館設立基金	1,670,000
予 備 費	5,108
合 計	3,918,587

■積立金・基金の状況

同窓会館建設基金	45,420,993
周年行事積立金	1,046,827
名簿発行積立金	913,560
計	47,381,380

令和元年度予算

〈一般会計〉 (単位:円)

■収入の部

前年度繰越金	23,289
入 会 金	3,570,000
会 費	380,000
雑 収 入	6,711
合 計	3,980,000

■支出の部

生徒活動奨励金	250,000
会 報 発 行 費	1,500,000
事 務 費	70,000
貸 金 庫 手 数 料	20,000
会 議 費	10,000
幹事会案内状印刷・郵送費	60,000
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	200,000
同窓会館設立基金	1,650,000
予 備 費	20,000
合 計	3,980,000

■積立金・基金の取り崩し予定

同窓会館建設基金・周年事業積立金・名簿発行積立金
いずれも取り崩しの予定はありません。

平成30年度事業報告

○会報誌「うてな」発行 12月 9306部発行(9850部印刷)

○母校支援事業(PTAとの共同事業)

・生徒活動奨励金

生徒図書購入、水泳部 相生市立プール利用料、
野球部 西兵庫大会バス代、陸上部 助走路ランウェイ
サッカー部 ゴールターゲット ゴールネット、
アート部書道班 掛け軸表装代、茶華道部 畳一式
弦楽部箏曲班 琴 姫1号

・教育振興基金(国際交流委員会の29年度未繰越金を原資に平成30年4月設立)

国際理解講演会(11/16開催 小林祐梨子氏「人との絆(たすき)
に込めた想い〜世界で活躍できる人材とは〜」
2019 English Day 費用補助

令和元年度事業計画

○会報誌「うてな」発行 12月ごろ

○宛名シール無料提供

○母校支援事業(PTAとの共同事業)

・生徒活動奨励金

・教育振興基金

国際理解講演会

11/6 大崎麻子氏

「SDGs:世界が描く未来へのロードマップ」

(関西学院大学総合政策学部客員教授、国際NGOプラン・インターナショナル・ジャパン理事)

40回生 相門会幹事 (相生高校の同窓会は「相門会」と名付けられています)

	1組	2組	3組	4組	5組
40回生	○藤川 祐一 ふじかわ ゆういち	光岡 直輝 みつおか なおき	有田 祐希 ありた ゆうき	橋本 航 はしもと わたる	新屋 拓己 しんや たくみ
	萱野 葵 かやの あおい	高井 葉月 たかい はづき	上鍵 萌 じょうかぎ もえ	○大磯江里子 おおいそ えりこ	長田 桃枝 ながた もえ

◎常任幹事

会費納入について

いつも会費納入していただきありがとうございます。この「うてな」は、同窓生の皆様の会費で発行しております。できるだけ多くの方々がご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

さて会費は、同封の振込用紙で、ゆうちょ銀行又はコンビニで納入して下さい。会費納入の際に、住所・氏名の変更がありましたら、ゆうちょ銀行の場合は、振込用紙を訂正し、払い込んでいただくと、事務局への連絡は必要はありません。また、メッセージがありましたら、あわせてお書きください。なお、コンビニ扱いの場合は、会費納入のみで、住所・氏名の変更、メッセージの受付はできませんので、変更の必要のある場合は、事務局へもご連絡ください。

●住所変更等の連絡先: 同窓会名簿発行事務局
小野高速印刷㈱ 〒670-0933 姫路市平野町62
☎フリーダイヤル: 0120-66-7754

FAX: 0120-81-2299

●ホームページ(同窓会++) <http://dousou.info>
TOPページ「住所変更はこちら」より

●携帯電話登録フォーム 右のQRコードより →



総会報告

令和元年度 同窓会役員改正

は令和元年度変更分

役 職	氏 名	回生	役 職	氏 名	回生
会 長	芦谷 得夫	1			
副会長	大西 康之	1	副会長	志茂 邦彦	2
	堀川 法宏	2		西角 隆行	4
	佐伯 敦	10			
会 計	山内小百合	1	会 計	浮田さおり	3
書 記	宮崎真哉子	2	書 記	大石 雅嗣	11
会計監査	福岡 章代	1	会計監査	梅田 朱美	13
校内幹事	中部 修一	2	校内幹事	岸本 由樹	3
	射延 章浩	8		藤岡 裕介	11
	兼田 淳平	34		坂本 佳耶	35

編集後記

創立記念国際理解講演会で国連が提唱するSDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)について話を聞きました。地球温暖化の影響を感じる機会が多いため、子供たちに残す地球について考える貴重な機会でした。

さて、原稿を寄せていただいた方々、ご協力ありがとうございました。令和最初のうてなです。相生高校がこれからも地域に信頼される学校として進化していけるよう同窓会として、サポートしていきたいと思っています。今度とも、会員の皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。